

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校開放施設の団体・区民利用等 <small>20年度予算コード</small>			004	整理番号	591	枝番号	
担当部課名	社会教育スポーツ課		コード	601601	昨年度 整理番号	781,782,783,784,785			
係名	管理係(学校開放担当)		連絡先 電話番号	1665					
上位施策名		No	60		地域への学校開放				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住・在勤・在学者		(1) 社会教育法第44,45,47,48条 (2) スポーツ振興法13条 (3) 杉並区立学校の開放に関する規則					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	区立小中学校の空き時間を、区民への開放施設として、スポーツ・文化活動の場を提供するとともに、地域住民の交流の活動も行っている。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 区民のスポーツ・文化活動の場の提供要望に対して、必要な消耗品等の整備や利用者の自主的活動を支援することで、施設が有効に活用され、さらには学校を基にして地域を活性化させる。					
	活動指標名(式)	(1) 学校施設利用者数 (2) 学校開放登録総数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 学校開放連合協議会活動回数(役員会、自主事業等) (2) 利用者団体協議会行事実施数					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	人	720,728	700,000	733,379	740,000	740,000	99.1	
	活動指標(2)	人	19,027	22,000	19,064	22,000	22,000	86.7	
	成果指標(1)	回	774	900	764	900	900	84.9	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	95,166	110,595	88,662	112,203	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円							
	(内)委託費	千円	26,087	28,011	24,648	29,268			
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.23   2.00	3.00   2.00	3.10   2.00	3.00   2.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	29,264	27,420	28,334			27,420
		非常勤職員分	千円	5,660	5,540	5,540			5,540
	総事業費 ++	千円	130,090	143,555	122,536	145,163			
	単位あたりコスト(-)÷	円	180	205	167	196			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	130,090	143,555	122,536	145,163			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	学校開放指導員謝礼		1	式	26,943				
	学校開放に伴う光熱水費		1	式	21,017				
	プール開放運営委託費		1	式	17,513				
	学校施設維持管理費		1	式	14,980				
その他 (光熱水費、医薬品・遊具等)				8,209					

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 591 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	104.8	活動指標(2)の 19年度達成率%	86.7	19年度予算 執行率%	80.2
		・学校開放プール予定校が工事等により、開放数が減ったため。 ・遊びと憩いの場事業の指導員の謝礼が学校工事や雨天中止等で開放日が減ったため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・学校開放連合協議会の役員会等で、各ブロックや各利用者団体協議会の活動交流の報告を行うことで、他の利団協も新たに行事を取組んだ。 ・夏のプール開放の実施に当たり、利用者の安全と快適性を充実させるために管理者等の研修時間の増や職員の開放時の巡回の際、安全上のチェックの徹底を図った。 ・遊びと憩いの場事業では、利用実態の調査を行ない状況の把握をするともに学校開放関係者会議を開催し、現状についての意見交換を行い、今後の課題の検討を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区民にとって身近にある学校施設で、スポーツ・文化活動ができる開放事業は多くの区民に利用され活動の拠点となってきた。しかし、学校行事(部活動の活発化など)等の関係で、開放時間に制約が出るなどの課題が出ている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	学校行事の拡充等で登録団体の利用時間が制限され、特に校庭の登録団体からは利用時間の確保の要望が出されている。					
	今後の予測	学校施設の開放時間には限界がある中で、登録団体間での利用時間の調整などにより、限られた時間の中での工夫が求められている。また、新校舎には、夜間・休日等の開放でも管理上問題なく利用できる構造にするよう、地域に開かれた学校として基本的な考え方を定めていくことが必要となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 学校施設利用の登録団体数や学校施設利用者数等の増減は少なく、定着してきている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 各利団協の活動・事業を更に活性化させ、多くの利用者の交流の場を作り上げる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 学校施設の有効利用の一環であり、また、利用者負担させた場合の徴収方法など事務の煩雑など課題が大きい。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 効率的運用に努めている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策): ・学校開放による学校施設の利用調整等を学校開放連合協議会に委託を行っている。 ・夏のプール開放については、利団協及び企業に管理運営を含めて委託を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・学校開放連合協議会の役員会で、各利団協が旺盛に交流事業を展開できるよう継続して情報交換を行い、登録団体に関わらず幅広い地域の方々を含めたスポーツ・文化活動を提起していく。 ・遊びと憩いの場事業は、休日などは少年団体との同時利用が行われているが、学校によっては狭く自由に遊びにくいため、学校の意向も踏まえつつ対応していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校と地域団体との協力関係や施設構造上の違いなど学校によって状況が違ふことで、学校ごとの対応が異なるケースがある。そのため一律的な対応が困難であり学校ごとの対応が求められるケースがある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 クラブハウスの老朽化が進んでいるため、計画的に修繕を行い、地域住民にとっても利用しやすい施設としていく。